



根室支部 支部長
菅原 日出男

新年あけましておめでとうございます。
全道の行政書士の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。
本年も微力ですが行政書士会の発展の為に、年男(寅年)として努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願いします。
昨年は、一昨年に続き新型コロナウイルスの感染のため、支部総会をはじめとして、計画していた行事は縮小又は中止となり、支部の活動がほとんどできなかった1年でした。その中において、新会員2名が入会しましたが、長年、行政書士として、北海道行政書士会及び根室支部に多大な貢献をした「故井上章二氏」が他界したことは大きな損失であり悲しい出来事でした。冥福をお祈り申し上げます。
さて、令和4年は、新型コロナウイルスの感染が終息し、5月の支部総会そして本会総会が無事に開催されることを願うばかりです。
当支部の今後の方針としては、民法等のルールが大きく変わったことから、行政手続がますます多様化・専門化していく状況ですので、研修の充実を図り、行政書士の利用価値をアピールするとともに、「頼れる街の法律家」としての存在感を示す必要があります。そのためには、広報・啓発活動と無料相談会の実施を積極的に取り組んでいくことにしています。
更に、根室支部の会員の増強を図るため、管内市町の人事担当者にお会いし、第二の人生の職業として「行政書士」についてPRをしていきたいと考えています。
最後に、会員皆様にとりまして、希望に満ちた良い年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。



函館支部 支部長
嶋田 不二雄

明けましておめでとうございます。
令和4年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。
さて、現在までの支部の活動・現状に関する報告ですが、一昨年より打ち続くコロナ禍により、満足な活動ができたとは決して言えません。2年続けての先行き不透明な中での事業計画の策定と予算編成は思った以上の苦しい作業でした。ただ、そのような状況下でも支部定時総会を十分な感染対策を施した上で、対面で行うことができたのは、一歩前進だったと思います。私にとっては支部長に就任してから初めて迎える対面での総会となりましたが、執行部と会員の皆様のご協力のお陰で、すべての議案のご承認をいただくことができました。
また、5月に行われた北海道行政書士会の定時総会(書面)では凶らずも常任理事を拝命し、支部長と二足の草鞋を履くことになりました。こちらも多くの人たちに支えられながら、今日まで何とか業務を遂行している次第です。
世の中ではワクチン接種も進み、徐々にではありますが、研修会等、支部の活動も再開しています。嬉しいニュースとしては、当支部の原隆俊会員が道社会貢献賞を受賞し、また、元支部長の佐藤聡会員が、行政書士制度70周年総務大臣特別表彰を受賞しました。
ウイルス感染は、まだまだ予断を許さない状況が続いておりますが、会員の皆様にとって良き一年でありますよう、ご多幸、ご健勝を心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。

